[参考資料]

1．原料費調整制度の概要

・原料費調整制度は、LNGとLPGの輸入価格（貿易統計値）の変動に応じて、
　毎月、従量料金単価（1㎥あたりの単価）　を調整する制度です。

・基準平均原料価格（83,350円／㌧）と平均原料価格（3～5ヶ月前の3ヶ月間のLNGとLPGの輸入価格）の差額100円 につき、
　1㎥あたり　0.081円（税抜）調整します。

・ガス料金（一般ガス供給約款）の計算に適用する平均原料価格については、133,360円/㌧を上限とします。

2．平均的なガス使用量（29㎥/月）のご家庭のガス料金（2026年4月検針分）

（1）平均原料価格の算定

＜LNG平均輸入価格＞　　＜LPG平均輸入価格＞

85,940（円/㌧）　×　0.9576　＋　81,040（円/㌧）　×　0.0466　＝　86,072.608（円/㌧）

⇒　86,070（円/㌧）　※10円未満を四捨五入

（2）平均原料価格と基準平均原料価格との差額（原料価格変動額）の算定

＜平均原料価格＞　＜基準平均原料価格＞

86,070（円/㌧）　－　83,350（円/㌧）　＝　2,720（円/㌧）

⇒　2,700（円/㌧）　※100円未満を切捨て

（3）従量料金単価調整額の算定

＜原料価格変動額＞　　＜消費税率＞

2,700（円/㌧）　×　0.081（円/㎥）　÷　100（円/㌧）　×　（　1　＋　0.10　）　＝　2.4057（円/㎥）

⇒　2.40（円/㎥）　※小数点第3位以下を切捨て

（4）従量料金単価（税込）の算定（一般ガス供給約款　料金表Bの場合）

＜基準単位料金＞　＜従量料金単価調整額＞　＜政府支援分＞※

169.03（円/㎥）　+　2.4　（円/㎥）　－　6.00（円/㎥）　＝　165.43（円/㎥）

（参　考）2026年3月検針分の従量料金単価との比較

＜2026年4月の従量料金単価＞　＜2026年3月の従量料金単価＞

165.43（円/㎥）　－　151.56（円/㎥）　＝　＋13.87（円/㎥）

※電気・ガス料金負担軽減支援事業の政府支援に基づく値引き。

（5）ガス料金（2026年4月検針分、税込）

＜基本料金＞　＜従量料金単価＞　＜ガス使用量＞

1,588.88（円/月）　＋　165.43（円/㎥）　×　29（㎥/月）　＝　6,386.35（円/月）

⇒　6,386（円/月）　※1円未満を切捨て

以　上